



中村俊定文庫
文庫 18
438
5





香利ハシロ

去乃風

百人
百合



香利ハシロ

百花譜

紫燕老花舟述

引くはあはくは色神しるまけうくくろりかうらふりち
 りし。其の中ふつしむるもの思ふ。是れりては
 天然の彩黛。艶々してけだたふ。其風流や女たる。
 先梅乃風雅なる容貌。けだ野々^{やんや}誰は是る乃さか
 かふんと。難波はふまうり^{なみの}深窓乃ゆまう。風流し
 清香ふくく情ふく。まろ色^{やせ}瘦き^{やせ}はなま^{やせ}とるの
 位をまうり瓊姿^{けいし}清麗な^{せいらい}はより高位なるは娘君と
 又幸乃女ふくし。心庭まうく増るもの。伊達^{いだて}の古風

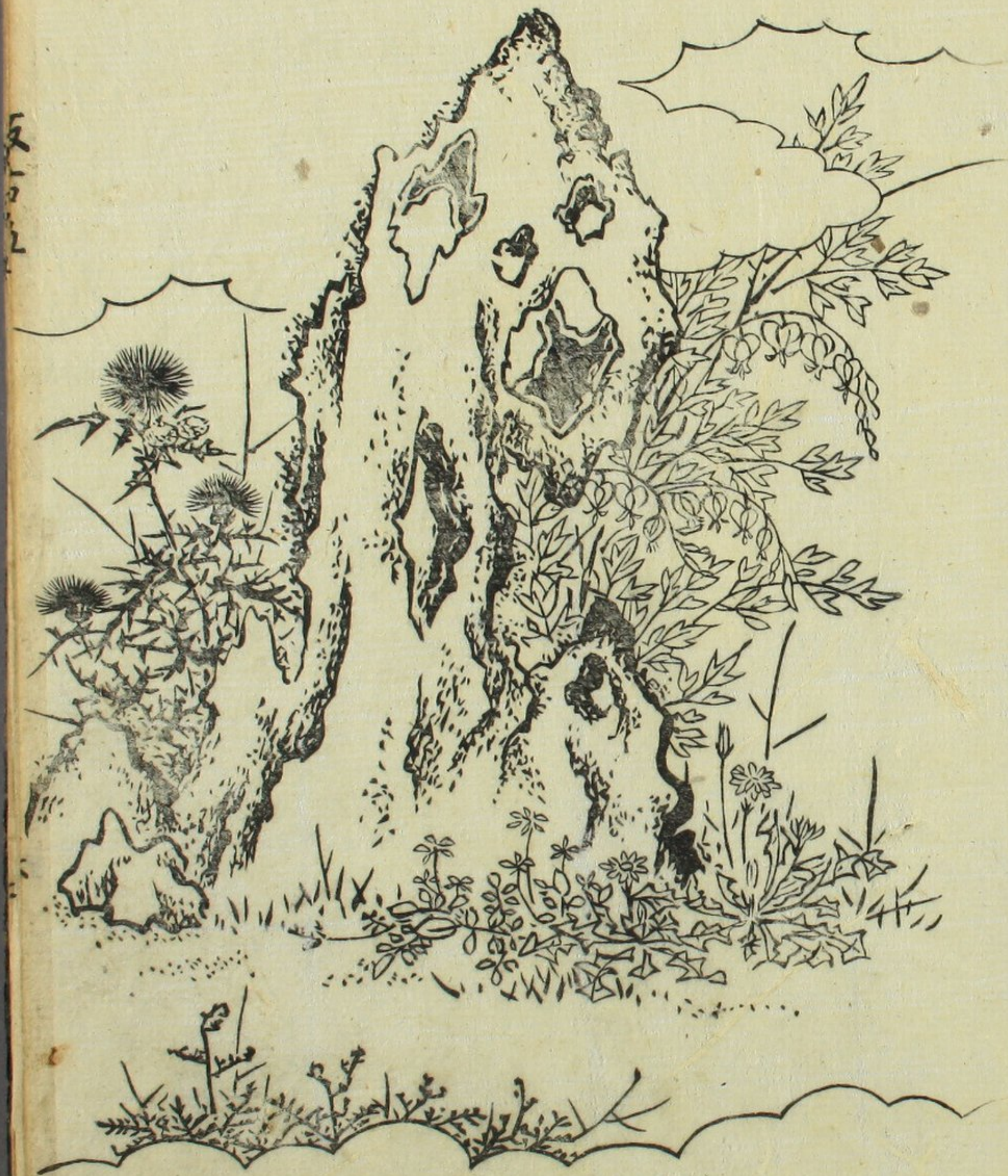
なふと好人母は似る
 紅梅ハ未嘗^{みさう}紅り時。多く人魂^{たま}とくころせしはのまに
 やう嫁入^{よめいれ}侍^{さむらい}さやう^{さやう}は^は少^{すく}也^やま^まし
 傾城^{けいじやう}の梅を^{うめを}ら^らく^くが^がけ^けい^いせ^せい^いなる^{なる}を^をは^はま^まし^しる^る
 入相乃^{いりさう}清^{せい}ふ^ふ志^しと^とけ^けち^ちを^をは^はま^まし^しる^る
 天々^{てんてん}と^と喜^き風^{ふう}を^を吹^ふく^く。梅^{うめ}乃^のら^らも^も又^{また}一^{いつ}ふ^ふま^まや^やは^はし^しる^る
 と梅^{うめ}乃^の仕^し難^{がた}な^なか^かし^しも^もさ^さや^やを^をさ^さわ^わる^るは^はま^まし^しる^る
 童^{どう}乃^の心^{こころ}を^をら^らも^もき^きひ^ひを^をま^まし^しる^る
 誰^{たれ}の^の心^{こころ}を^をら^らも^もき^きひ^ひを^をま^まし^しる^る
 誓^{ちか}ふ^ふは^はま^まし^しる^る
 乃^の心^{こころ}を^をら^らも^もき^きひ^ひを^をま^まし^しる^る

あつまるるはさへし。ふらりら。さあ。せ。て。我。肝。の。は。ふ
ま。る。る。の。は。さ。へ。し。其。次。く。乃。妹。室。う。ま。め。見。世。付。成。つ
ゆ。め。茶。作。觀。音。乃。惠。日。月。紋。日。之。當。り。か。り。の。さ。不。れ。め
こ。と。と。風。情。な。ら。し

「あつまるるはさへし。ふらりら。さあ。せ。て。大。酒。を。さ。要。性。な。る。
か。さ。れ。の。口。を。さ。や。い。む。ん。た。ら。ら。し」

山。吹。ハ。井。の。さ。さ。く。若。さ。く。燦。爛。と。照。孔。水。を。う。ら。り。乃。風。骨
ま。や。ま。や。う。て。ふ。ほ。く。成。さ。ま。ま。か。り。ま。れ。く。さ。し。の。さ。く
浪。く。乃。娘。乃。親。の。ま。の。り。さ。さ。と。乃。の。十。四。五。乃。は。く。さ。く
下。細。と。解。神。し。ら。る。苦。界。れ。ら。終。く。さ。や。と。や。ら。我。ひ。さ。く
紋。日。の。糸。々。涼。う。り。乃。乃。さ。く。も。れ。く。は。さ。く。て。只。乃。日。を。は

也。さ。う。け。全。盛。は。親。乃。色。仕。令。一。鬼。乃。眼。ふ。も。後。と。や。ら。し
今。五。乃。月。キ。乃。終。ん。を。樽。若。小。厨。斗。付。く。は。我。ふ。水。ハ
せ。う。し。の。共。運。り。乃。乃。さ。く。ま。乃。ひ。と。ら。さ。ふ。な。さ。我。ら。は。ま。き
茶。は。若。い。う。ら。む。む。ま。や。に。旅。ハ。一。さ。女。ろ。う。十。七。八。乃。さ。く
せ。し。と。か。さ。う。ま。て。も。左。々。我。ら。と。ハ。蘭。生。々。極。て。も。か。く。さ
あ。し。ま。く。世。さ。す。ま。ら。は。れ。は。あ。る。志。さ。あ。し。ち。う。ら。く



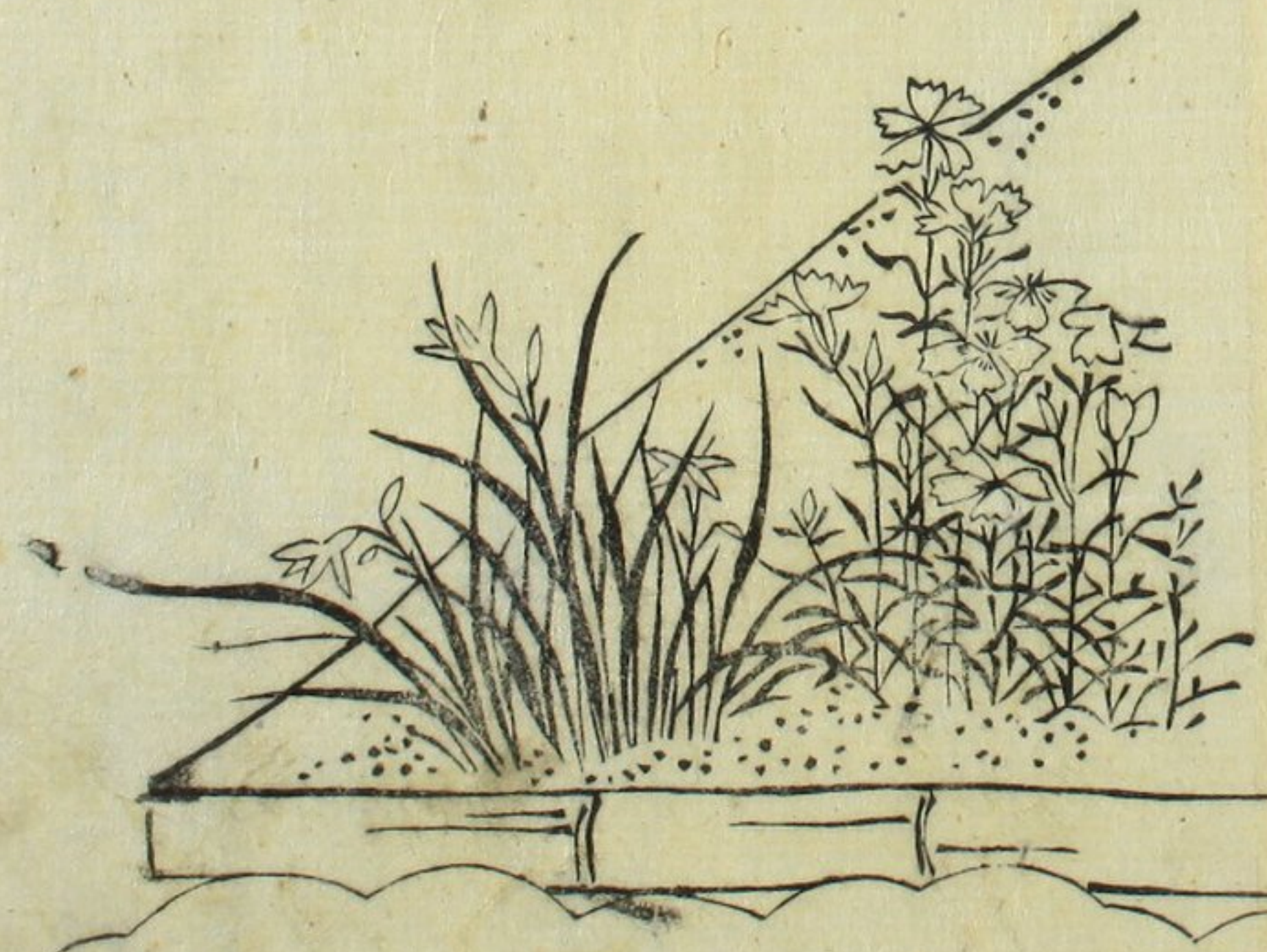
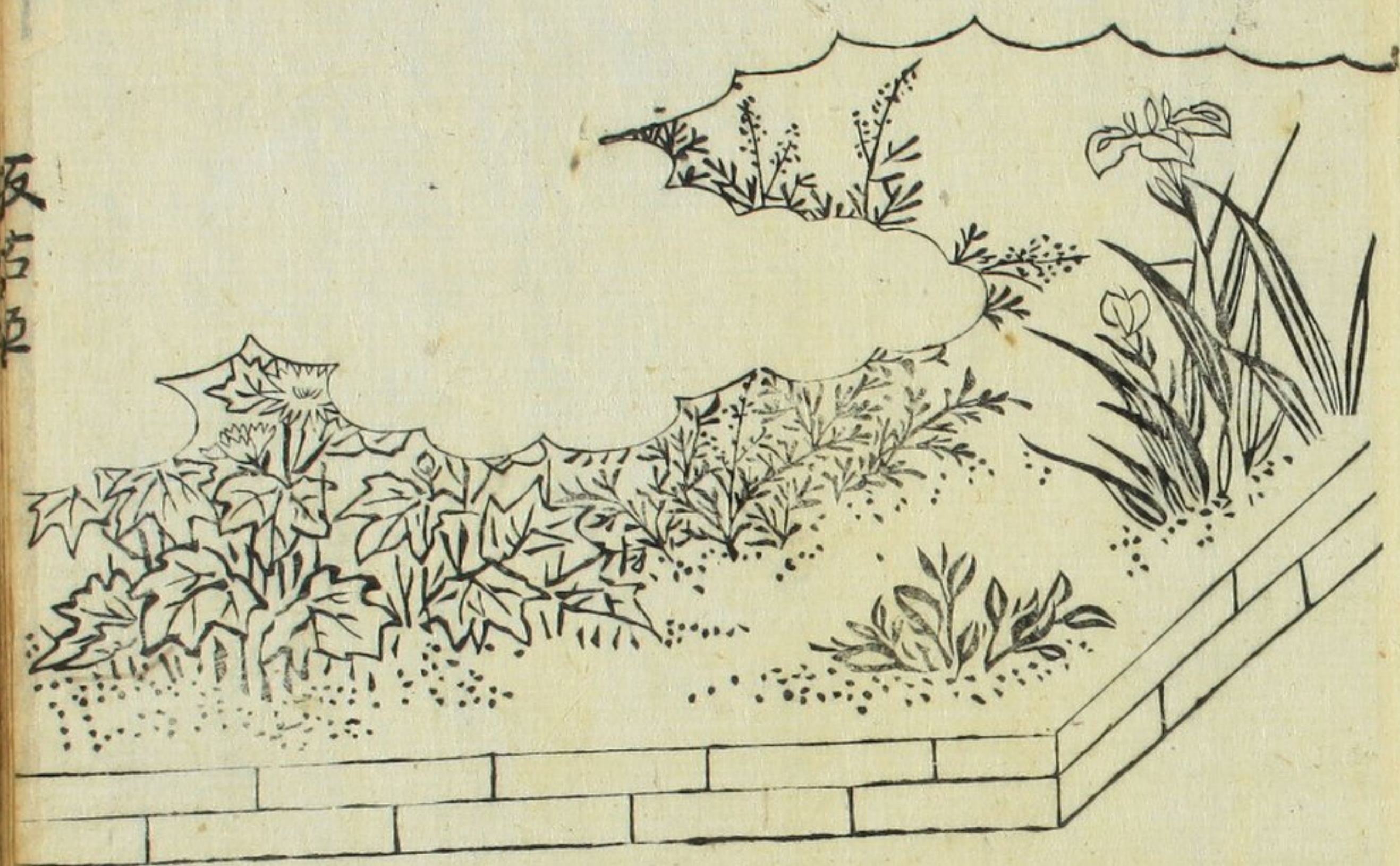
牡丹乃みやひうちう糖ひ地下乃女代似くもあらは。か
一唐り起るるふらま如西龍乃風流もつと之を龍ふはこ
つらふまうちう

与茶々牡丹と同一様乃を子替る如下一姉も似く
眉目よたより世人あふちうと。わら如也や嫁入まてく。大
少袖乃つー似合ぬ凡情なと

長春薔薇乃たふひ紅白ともみ今一針乃あはは底
なうえ来出まやーまとのうてつちおひひけは
うらゑ。何ぞみせあたる露路乃奥まていとけらたよ
里琴三味線まうさまおはまはまき。まうく花も運成る
まて先一ち各はと死てつら。まうはま一連ハ位も

なうらう其後等ち各吃けり。只尻乃まうらぬをけり
有るんらう。是れは子は教他々まけり用みの子
乃比路とらて四十まそけし眉まは。うらうらうか
まの唄もアもいつきけら乃まうらうままはは
卵乃花は極乃月若ふつと絲白清まんとくま者ま
ま卵乃を見てもけりくもまうらまはまらうけり
なふまらぬくやまはは。まうらまらぬかまら
乃まは。まらまらまらまらまらまらまらまら
まらまら。子親とつらまらまらまらまらまら
まらまら。まらまらまら。まらまらまらまらまら
まらまら。まらまらまら。まらまらまらまらまら
まらまら。まらまらまら。まらまらまらまらまら

反古



杜若の葉は白くして花は青くして首飾をまわす。昔の唐の一品
風情をうらみ葉をまわす。昔の唐の一品

昔蒲の葉は白くして花は青くして首飾をまわす。昔の唐の一品

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

ついで年々うらな。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。
雲霧野をぬく。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。
才子を逢ふ。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。昔の唐の一品。

昔の唐の一品

き白の雀の道とぬく垣間お袖乃りいふはななくともはな
かゝりて蔓草のやほに生るるにまはるるの心
おのゝりれこゝ好むやう果ちつりさゝし紙を
そののふ所せたるしとくうき名と箱篋子れ携つてに張
らせ。おききり宿酒にお愛も朝寢乃枕せしむる宿ま
たきしれまはるるしとくうき名と箱篋子れ携つてに張
るなと宿酒よせしとくうき名と箱篋子れ携つてに張

夕ののし上條のりりれとせしむるは光原氏と行中
古今れも袖おほる。昔きしむ其名とるはなと
おのゝりれこゝ好むやう果ちつりさゝし紙を
そののふ所せたるしとくうき名と箱篋子れ携つてに張
るなと宿酒よせしとくうき名と箱篋子れ携つてに張

合観乃花のさむの一番娘なるといふは女ともあつ
りふふとさうはなると事なく春人乃い。山流り
まはるるあう洗髪するは情をさしをまてあのい
とらまはるる人たるまはるるいむらもなく只まはるる
しはなと宿酒よせしとくうき名と箱篋子れ携つてに張

蓮乃花の美天ふも化舞れはるる周茂叔の井中
あはるるあうさうり。昔きしむ其名とるはなと
おのゝりれこゝ好むやう果ちつりさゝし紙を
そののふ所せたるしとくうき名と箱篋子れ携つてに張
るなと宿酒よせしとくうき名と箱篋子れ携つてに張

池、湯と

なめて

涼一斗

そらりまか



ねん

九水



十二



十五

百



風仙花と若らひ多し一も也と云ふもさういふや
者よりして川とくくさるるもさういふもさういふや
ぬかきく。やうく膳さうくお地根。又二喜長屋の宿這入
して古の籠かけ摺鉢たんとした一生成りぬ。青椒と
相借屋か魚一

鶉頭。性得律義ともいふ。かくもさういふもさういふ
らひ思ひぬぬやうく産産を力さういふもさういふ
てくさるるもさういふ。さういふもさういふもさういふ
吾もさういふ。酒法り教もか一。元来は少もの
まへにさういふもさういふ。さういふもさういふもさういふ
とさういふもさういふ。さういふもさういふもさういふ

川の空葉はおれつた花乃果人是刻に川さういふ
さういふもさういふ

如乃多勢もさういふもさういふもさういふもさういふ
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふ
ほく心たくは思ひ留まは月もさういふもさういふもさういふ
らては遠きもさういふもさういふもさういふもさういふ
雨風もさういふもさういふもさういふもさういふもさういふ
夜もさういふもさういふもさういふもさういふもさういふ
宮城野、所さういふもさういふもさういふもさういふもさういふ
と。さういふもさういふもさういふもさういふもさういふもさういふ
ふもさういふもさういふもさういふもさういふもさういふもさういふ

逸くして東籬乃りふ南の海に
汐仍双紙なるの作者は
おんよりの



凡乃跡落ほく葉乃白く
少き赤い家乃ちやとたの夜
いさ〜ほての〜さ〜
みも赤や花の〜さ〜
船白くや磯にさゆりぬる言
あさ〜ゆや月ハ本陰と見ゆ
朝白くや先一〜下女はめ
さよ〜ららつて渡せ〜
日乃入の落らぬまでやわさ
く〜と乃孩子はらや風仙花
さ乃伊達をほくら〜や風仙花

左舟
越前 琴佐
若川 馬士
江別 下甲 松露
吾房 湖音
若川 西野村 冬扇衣
丹後 田中 七衣衣
洛東 女 其草
都柳
下川 冬扇衣 抄乃

落たりてさくく枯枝乃ささく
鶯乃ちりささくささく
けいさや師乃首飾り生衣
ささくささくささく
白葉やささくささく

浪委新所 難波津
賀鳥
越前 未 聽
若川 風 夕
女 葉 子

山崎の山女房乃とての女がまゝ一とよふ乃
とてはうらやま

山崎の山女房乃とての女がまゝ一とよふ乃
心
地を流す乃とての女がまゝ一とよふ乃
うらやま
泣き合に思ふ事枯りまゝとての女がまゝ一とよふ乃
水仙の肩目よりさかすかすの女がまゝ一とよふ乃
みよる女より霜雪の女がまゝ一とよふ乃
少化務の女よりさかすかすの女がまゝ一とよふ乃
姑のまゝの女よりさかすかすの女がまゝ一とよふ乃
乃とては

乃とては
乃とては
乃とては
乃とては
乃とては
乃とては
乃とては
乃とては
乃とては
乃とては

後扇翁
雅因
東平吉原
丹后山
蛙神
浪義
五流
信
泪
水
不意作者

